

デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.178-179 自然を生かした九州地方の農業

2. 目標 (1) シラスの分布と性質を理解し、シラスでの農業の特色を理解することができる。

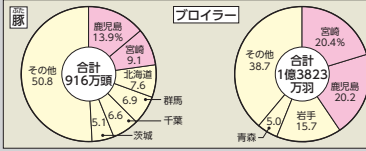
(2) 二毛作や促成栽培が盛んな地域の共通点を、自然環境に着目し、関連付けて考察・表現できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	- 九州南部の農業の特色を、シラスの分布とその性質から理解している。 - 九州で盛んな二毛作や促成栽培について、九州の気候に着目して理解している。
思考・判断・表現	九州南部と北部で盛んな農業について、それぞれの地域の自然環境の特色と関連付けて説明している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	1. 「シラス台地の斜面とシラス」の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. シラスが農業に与えている影響を予想し、学習課題への見通しを持つ。	 p.178 ① (上)  p.178 ① (右) シラス台地とは、どのようにできた土地だろうか。 シラスは農業にどのような影響を与えているのだろうか。	○ 「シラス台地の斜面とシラス」の写真を題材にし、シラスの特色について話し合いながら、本時への導入を図る。 ○ シラスがこの地域の農業に与えている影響を予想させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
	学習課題：火山活動の影響を受けた土地や温暖な気候を生かして、九州地方ではどのような農業が行われているのだろうか。		
展開	3. シラスの分布をつかみ、農業の特色を調べる。 4. シラス台地でさつまいもや茶の生産が盛んな理由を考える。	 p.178 ②  地図帳 p.83-84 シラスはどこに分布しているのだろうか。  p.178 ③ シラス台地とその利用 「シラス台地とその利用」 シラスが広がる地域では、どのような農業が盛んなのだろうか。	○ 学習プリントを活用し、シラス台地で栽培が盛んな作物とその理由をまとめさせる。 ◆ さつまいもや茶のほか、さまざまな野菜類が栽培されていることを理解させる。 ○ シラス台地でさつまいもや茶の生産が盛んな理由を考えさせる。 ◆ 温暖で水はけのよい土地は茶の栽培に適していることや、平坦な台地は大型機械を導入しやすかったことなどを考察させる。

展 開	5. シラス台地で畜産が盛んな理由を考える。 6. 九州北部の農業の特色を理解し、そのような特色がある理由を考える。 7. ビニールハウスを用いた農業が盛んな理由を考察する。	  p.179 4 p.179 5 牛や豚などの家畜が多く飼育されているのはなぜだろうか。   地図帳 p.85-86 p.179 6 九州北部では、どのような農業が行われているのだろうか。 二毛作が行われている理由を考えてみよう。   p.172 2 p.173 5 熊本平野と宮崎平野では、それぞれどのような作物の栽培が盛んなのだろうか。 なぜビニールハウスで栽培しているのだろうか。	○ シラス台地で畜産が盛んになった理由を考えさせる。 ◆ シラス台地の開発によって台地で水が得られるようになり、畜産が盛んになったことを理解させる。 ○ 九州北部の代表的な農産物を本文や地図帳から確認させ、気候との関わりを考えさせる。 ◆ 筑紫平野では広く水田がみられ、冬でも温暖な気候を生かして二毛作が行われていることや、いちごの栽培が行われることを理解させる。 ○ 二毛作と二期作を混同しないように留意する。 ○ 写真から、熊本平野と宮崎平野の農業の特色を読み取らせ、ビニールハウスでの栽培が盛んな理由を考えさせる。 ◆ 温暖な気候を生かして、冬にきゅうりやピーマン、トマトなどが栽培されていることを理解させる。 ○ 促成栽培のしくみを理解させる。
整 理	8. 本時のまとめをする。 9. 学習課題への振り返りの活動を行う。	九州南部と北部の代表的な農畜産物は、どのような地形や気候を生かしているのか説明しよう。 「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。	◆ 九州南部と北部の代表的な農畜産物について、シラス台地や温暖な気候に関連させて特色を説明できたか確認する。 ○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。